

まんが田中正造発刊記念シンポジウム 「よみがえる郷土の偉人」



10月28日、文化会館で、まんが田中正造発刊記念シンポジウム「よみがえる郷土の偉人」が開催されました。

市では来年、平成25年に田中正造翁の没後100年を迎えるにあたり、正造翁の功績をたたえようと顕彰事業を進めています。このシンポジウムは「まんが田中正造」の発刊を記念し、原作者の水樹涼子さん（作家）、作画を監修された千葉修平さん（文星芸術大講師）、坂原辰男さん（田中正造没後100年顕彰事業を進める会会長）らを迎え開催されました。

シンポジウムに先立って行われた水樹さんの基調講演では、執筆にまつわる話が紹介され、作品に込めた思いや、作品を描いたうえで感じた思いが話されました。

また、水樹さん、千葉さん、坂原さんに、岡部市長を交えて行われたパネルディスカッションでは、今後の顕彰事業の展開やまんが制作に込めた思い、また、史実に基づいた解説などが話されました。

このほかくずう民話の会・語り部の部により正造翁の語り部が行われたほか、旗川小の4年生が正造翁の生涯を描いた寸劇を披露。想いがこもった語り部と、児童たちの熱演に大きな拍手が送られました。

正造翁の訴えは、産業と自然環境の再考が必要な現在に通ずるものがあります。この没後100年を機に、あらためて郷土の偉人・田中正造翁の功績をたたえましょう。



栃木県高等学校駅伝競走大会



11月3日、栃木県高等学校駅伝競走大会（男子第65回・女子第27回）が、運動公園周回コースで開催されました。

この大会は、前回まで高根沢町で行われていましたが、今回から佐野市での開催となりました。選手たちは運動公園陸上競技場でタスキをリレーし、周辺の周回コースを力走。沿道では市民の皆さんや各学校の関係者・生徒たちからの熱い声援が飛び交っていました。

男子は白鷗大学足利高校が初優勝、女子は那須拓陽高校が12年連続優勝を果たしました。男子で大会3連覇を目指した佐野日大高校は、9秒差で惜しくも2位となりました。



佐野市民駅伝競走大会

11月11日、第8回佐野市民駅伝競走大会が開催されました。

この大会は、地域の親睦を深め、競技層の拡大や明るく住みよい地域社会づくりを目的に毎年11月に開催されています。

市内各支部を代表する選手たちは、沿道の観客たちの声援に励まされながら、精一杯の走りでタスキをつなぎ、ウッドランド森沢から葛の里壱番館前までの19.03キロを駆け抜けました。

なお、上位チームの成績は以下の通りです。

- 優勝：犬伏支部
- 準優勝：城北支部
- 第3位：赤見支部



注
目

健康福祉

募集

催し物

お知らせ

講座

話題